



今治工業SPH通信 Vol.2

平成30年 7月 4日

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校 愛媛県立今治工業高等学校

【卒業生等とのディスカッションⅡ】



《目的》

地元で活躍する方々とのディスカッションを通して、企業で働く方々の仕事に向き合う姿勢や職業人としての意識を学ぶとともに、地域産業への理解を深める。

《実施内容》

◆地元で活躍する卒業生等とのディスカッション

○日時 平成30年 7月 4日(水) 5・6限目

○対象 機械造船科2年生 37名

○取組 ・ディスカッション「地域産業への理解の深化」
・各グループでのまとめ・各班代表生徒の発表

《講師》 [船舶産業] あいえず造船、山中造船、岩城造船
[機械産業] 今治ヤンマー、ダイハツディーゼル四国
イワキテック

《ディスカッションでの助言》

- ・仕事は「楽しさ」ではなく「面白さ」を追求すること。
- ・昨日より今日、今日より明日、進歩しようとするのが大切。
- ・同じ失敗を繰り返さないためにも、メモを取ることが大事。
- ・仕事では英語と数学が特に必要。しっかり学んでおくとうい。
- ・地元には、船舶建造、エンジン修理をはじめ色々な仕事がある。

《各班の代表生徒による発表》

- ・仕事では、協調性と向上心が大切だということが分かりました。
- ・入社後の1・2年をどう過ごすかで、先が大きく変わってくる。

《生徒が学んだこと・今後取り組みたいこと》

- ・地元の産業について理解することができました。また、自分が就きたい仕事について、しっかり考えることができました。
- ・今、自分が何をしなければならないのか理解できました。

《実施後の講師意見・感想》

- ・自分から質問するなど、積極的に取り組めるとよい。
- ・時間を短く区切り、より多くの人と話す機会を持つとよい。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

講師の話真剣に聞いて、しっかりメモを取っていた。メモの中には将来役に立つことがあるので、今後見直してもらいたい。

《成果・今後の課題》

昨年度は主体的に活動していた生徒が、今年度の取組では、やや受け身となる場面が見られました。事前指導・導入時の雰囲気づくりの大切さを、再認識することができました。

